

## 設 立 趣 旨 書

近年、少子高齢化、産業構造の変化、情報化社会の伸展などを受けて、地域、職場、学校、家庭のあらゆるところで地域社会が急激に変動しつつある。その影響が、教育現場においては、不登校やいじめなどに限らず、学級崩壊、授業不成立、低学力など様々な領域に及んでいる。また、職場では官公庁、企業、各種団体を問わずメンタルヘルス不全により長期休業に至る例が増加傾向にある。さらに、うつ病など精神疾患に代表されるメンタルヘルス不全に苦しむ人の数が顕著に増加している。そして、それらの態様も変化し、地域住民のメンタルヘルス対策へのニーズは高まる一方である。

地域、職場、学校などにおいては、相談の窓口の開設やメンタルヘルス専門職の配置、再適応のための各種制度の整備が進み、利用可能な資源が地域住民にとって身近になりつつある。こうしたメンタルヘルス資源が、より対象者のニーズに応えるべく、不調に陥った段階での二次予防、三次予防的対策にとどまらず、こころの健康づくりに資するよう予防的、積極的対策へと発展することが求められている。

メンタルヘルス専門職は、その知見や技能、資質を活用することで、地域住民のメンタルヘルス不全を予防し、その環境を調整し、地域住民同士の連携を促進させ、生活の質の向上に対する支援を行うことが期待されている。したがって、メンタルヘルス専門職は、その資質及び技能の一層の向上が求められるところである。

今後、地域住民のこころの健康づくりを支援し、真に社会貢献できるメンタルヘルス専門職の資質向上を図るため、「特定非営利活動法人神奈川県メンタルヘルスサポート協会」を設立することとした。

私たちは、メンタルヘルス専門職の資質向上、及び地域、職場、学校、家庭を構成する地域住民への充実した相談、査定、コンサルテーション、ストレスマネジメントやコミュニケーションスキル等を習得する心理教育プログラムの提供を目指す。また、講演会・研修会の実施、ホームページの運営、内外の関係諸団体との協力、調査研究活動など、メンタルヘルス対策の普及・発展に資する様々な事業を通して、より多くの地域住民のこころの健康づくりを支援する活動を実施する。

私たちの活動が、地域住民のこころの健康づくりに明るい未来を切り開くための一助になることを切に祈念している。

平成21年7月19日

特定非営利活動法人神奈川県メンタルヘルスサポート協会  
設立代表者 福山 渉